

令和7年度 学校経営方針案

北九州市立枝光小学校

校長 梶原 秀朗

1 学校教育目標

自ら学び 豊かな心をもって たくましく生きる子どもの育成
～笑顔が輝き、思いやりのある子どもたちに～

2 めざす子ども像

- 意欲をもち続けて学び、めあてを達成した喜びを味わう子ども
- 思いやりの心もち、気もちのよいあいさつができる子ども
- 自分の心と体を鍛え、困難にもめげずがんばる子ども

3 めざす学校像

＜学校経営の基本理念＞・・・北九州市こどもまんなか教育プランより

「こどもまんなか」で質の高い教育環境の充実を図るため、
「全てのこどもにとって居心地のよい学校」を基本に据え、
「失敗を恐れず挑戦し、志と人間力を高められる環境をつくる」ことや、
「学校の自律性と教職員のウェルビーイングを高める」ことや
「地域とのつながりの中でこどもを見守り支え、育てる」ことを目指しながら、
誰一人取り残さない学びと先端的な学びを推進し「学びの転換」を図る。

※ 教育の「不易と流行」の精神をもって前進していく枝光小学校に!!

- 子どもたちの笑顔が輝き、保護者・地域に信頼され、安心感を与える学校
～「期待の登校」「満足の下校」～

4 めざす教職員像

- 学校教育のプロフェッショナルとして向上心を持ち続け、新たなことにチャレンジしていく教職員
- 子ども一人一人のよさに目を向け、愛情をもって優しくかつ厳しく子どもを教え導く教職員
- 学び合い、支え合い、一丸となって学校教育目標の達成を目指す教職員集団

5 教育目標達成のための具体的方策

- (1) 意欲をもち続けて学び、めあてを達成した喜びを味わう子どもにするために
- 子ども主体の学びを目指して「学びの転換」を図る。

- ・これまでの教育実践の蓄積のもと、クラウド環境を活用して、個別最適な学びや協働的な学びの実現を図り、主体的・対話的な学びになるように授業改善を行う。

○ 基礎基本の学習の定着を図る。

- ・読書、漢字練習、計算練習問題への取組等を通して、言語力、計算力の定着を図る。(学びチャレンジ週間の設定 7月 12月 新規)
- ・「ドリルアプリ」を活用し、既習内容の確実な定着を図るとともに、「キーボード入力アプリ」等を活用して ICT の基礎能力を育てる。
- ・ひまわり音読暗唱ブックを積極的に活用する。

(音読暗唱コンクールの継続実施・・・各学級で積極的に活用を)

○ 「学年×10分+10分」を目安に家庭学習を続け、学習習慣を定着させる。

- ・前期前半より、自主学習コンクールの実施

表彰は前期前半終了時と後期前半終了時に実施(各担任が選抜)

後期後半学習参観前に年間を通じて優れた自主学習を実践した児童を表彰

○ 特別支援教育コーディネーターを中心にして、ユニバーサルデザインの授業づくりを行うとともに校内支援体制の充実を図る。(たんぼぼ学級の交流支援や各学級における個の支援)

(2) 思いやりの心を持ち、気持ちのよいあいさつができる子ども

- 道徳的心情、判断力、実践力を育てる道徳科の授業を着実に実践する。
- 「いじめに関するアンケート」に基づく面談(9月は全員面談)の実施

個別の教育相談を年4回実施(図書の時間等に) 7月・9月・12月・3月

- ・認知した「いじめ」は、組織的に早期解消を目指す。

- 「子どもつながりプログラム」を計画的に実践する。
- 保育園・幼稚園・中学校・市民センター等、地域の関係機関と連携し、様々な立場の人とふれ合いながら、思いやりと感謝の心を培う機会を設ける。

○ 校長による「枝光あったか放送」を給食時間に実施し、子どもたちの善行や頑張っている姿を価値付けることで、子どもたちの自尊感情を高める。(継続)

(3) 自分の心と体を鍛え、困難にもめげずがんばる子どもにするために

- 基本的生活習慣を確立し、健康で安全な生活を送るための実践力を育てる。
 - ・全学級で「枝光ルール」に基づいて学級指導を行い、規範意識を育てる。
 - ・学習規律のあり方について共通理解を図り、6年間を見通した指導を行う。
- 年間を通して、また、定期的に体力の向上を目指す取組を実施する。
- 率先して清掃活動を行い、子どもたちとともに美しくきれいな学校をつくる。
 - ・「もくもく掃除」の徹底を図る(「聞こえてくるのはオルゴールの音色だけ」)。

6 子どもの健康と安全を守るために

- 毎月の安全点検を確実にを行い、施設設備不良、危険個所を早期発見し、対応する。
- テトルや健康観察において子どもの出欠状況を確実に把握し、理由不明の欠席者がいる場合には、8：50までに電話で確認を取り、必要に応じて家庭訪問する。
 - ・理由不明の欠席者…担任（職員室へインターホン）→担任外（家庭へ連絡）
- 健康観察において子どもの出欠状況を確実に把握し、理由不明の欠席者がいる場合には、8：50までに電話で確認を取り、必要に応じて家庭訪問する。
 - ・理由不明の欠席者…担任（職員室へインターホン）→担任外（家庭へ連絡）
- **毎朝「心の健康観察」の確実な実施と効果的な活用を図る。**
- 新しい生活様式に則った生活習慣や学習習慣を意識し、計画・実践・改善を行う。
- 首から上のケガ（頭、目、顔、歯）については、必ず保健室で手当を受けさせ、管理職の判断のもと、保護者に連絡を取り、病院に搬送する。
- 管理職・担任・養護教諭・栄養教諭が連携したチェック体制により、食物アレルギー対応給食を確実に提供する。
- 児童の変化を敏感にとらえ、虐待が懸念される事象を把握した場合は、迷わずに子ども・家庭相談コーナーや子ども総合センターなどに連絡する。

7 保護者・地域との信頼関係を築くために

- 地域行事に積極的に参加し、学校と保護者・地域が良好な協力体制を維持する。
- 学校評価結果や学力・体力の状況、いじめ防止方針など、学校からの情報発信を積極的に行う。
 - ・毎月、学校通信「えだみつ」を発行するとともに、ホームページを更新する。
- 「学習参観」「保護者参観の学校行事」「学校開放日」を設定し、枝光小学校の素晴らしさをアピールする機会とする。

8 ワークライフバランスの実現に向けて

- 水曜日に計画的に終礼や職員会議、校内研修等を行い、緊急時を除き、他の曜日に会議をもたない。（児童に関する情報交換は、終礼等の中で順次行う。）
 - ・緊急時、年度当初には、必要に応じて臨時職員会議をもつ。
- 夜間及び休日（17：30～8：00）に留守番電話を設定する。
- 介護や育児など、生活スタイルに応じた個々の働き方を尊重する。
- 学校行事の見直しを行う。

昨年度 運動会→スポーツ大会形式

3学期の学習参観→1年間の学習の成果を表す場＋学級懇談会

各行事において保護者から様々なご意見あり

保護者の意見を参考にしつつ、学校行事として見直しを図る必要あり

- 専科指導、持ち合い授業を積極的に実施し、業務改善を図る。
- スクールサポートスタッフによる学級事務支援（教材の印刷や掲示物の作成等）、学習支援、学校業務支援を通して、教職員の業務負担を軽減する
- 校時表や時数を見直し、生み出した時間を授業の質の向上に向け、放課後の時間を有効に活用する。（教員一人一人に裁量のある時間を確保したり、年休が取得しやすい雰囲気をつくる。）
- 業務改善に向け、チームで取り組む。（別紙参照）

4月に身に付けさせたい基本的な生活習慣・学習規律

当たり前のことが当たり前ができる学校（子ども）に
「時を守り、場を清め、礼を正す」 教育学者 森 信三氏の言葉

- ・ 時間を守る（遅刻ゼロ）（チャイム席：授業の始まり、終わりの時間を守る）
- ・ あいさつは自分からする。（あいさつ運動の推進）※子どもの挨拶はまず教師から
- ・ 優しい言葉遣いに努める。（名前の呼び方など）
- ・ 名札の着用。（教師も率先して）
- ・ 落ち着いた廊下、階段の歩行。
- ・ 掃除は黙ってしっかりとする。（黙働）（整理整頓）